

市民ギャラリー特別展

「絵画から見る日本デンマークの時代 ～愛知近代美術の表現者たち～」

会 期：2025年6月27日(金)～8月1日(金)

観覧料：300円 ※中学生以下無料

安城市を中心とした碧海郡は、大正時代末期から昭和初期にかけて「日本デンマーク」と呼ばれました。今回の特別展では、安城市が「日本デンマーク」と呼ばれた時代に注目し、どのような絵画が描かれたのかをご紹介します。

安城市が日本デンマークと呼ばれ始めた1920年前後、愛知県の洋画壇において変革が起こり始めます。大澤鉦一郎による「愛美社」の結成(1917年)、鬼頭鍋三郎による「サンサシオン」の結成(1923年)がまさに代表的なものです。また、日本画においても1918年には「愛土社」の結成といった画家達による活発な団体活動が始まりを迎えていました。



大澤鉦一郎《夏の風景》

20世紀前半に描かれた絵画の鑑賞を通じ、当時の風俗や風景、描かれた人々の姿に思いを馳せ、日本デンマークと呼ばれた時代がどのようなものだったかを想像してみませんか。

市民ギャラリー企画展

「つちやあゆみ展 木と音のワンダーランド」

会 期：2025年7月19日(土)～8月31日(日)

観覧料：有料 ※中学生以下無料

つちやあゆみは「音や触れるコト」をテーマに大小さまざまな作品を手作業で制作している美術・木工作家です。

安城市初となる本展では、けん盤の音板と音消し板をならべてはめ込むことで、参加者が自由に旋律演奏できる大きな木の楽器「輪唱の〇」や、大人も乗れる大きなお椀「くりくりりり」など、体験型の木のアート作品を展示します。見て、聴いて、触れて、奏でて、木のぬくもりを感じてください。



《輪唱の〇》

アートと市民の皆様を繋ぐ場所

— Anjo Civic Art Gallery —



市民ギャラリーは、絵画・写真・工芸などのアートを身近に楽しんでいただくスペースです。



展示室C室



展示室D室

アートに関する表現の場として、個人・団体、安城市内・市外を問わずご利用いただけます。

展示室	広さ	部屋の概要
A室	84㎡	展示室A・Bの2部屋でも利用できます。
B室	130㎡	
C室	124㎡	固定のガラスケースが設置されています。
D室	133㎡	展示室D・Eの2部屋でも利用できます。
E室	133㎡	

※各展示室に付随する控室もご利用いただけます。

展示室
案内動画



利用案内

[開館時間] 9:00～17:00(入館は16:30まで)
[休 館 日] 毎週月曜日(祝日の場合は開館)・年末年始(12/28～1/4)

交通案内

- 名鉄西尾線南安城駅より東へ徒歩15分
- JR 東海道本線安城駅より、あんくるバス(1番系統安祥線)川島行き10分
- JR 東海道新幹線三河安城駅よりタクシー20分
- 無料駐車場(230台収容)あり



住 所 / 〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀30番地

電 話 / 0566-77-6853 FAX/0566-77-4491

[URL] <https://ansyobunka.jp/> 安城市民ギャラリー



安城市民ギャラリー 催し物案内

2025.4-2025.9



2024年度 新収蔵作品
雨森晴子《開》

ANJO CIVIC ART GALLERY